

会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回太子町総合教育会議														
開催の日時	令和6年10月3日（火）午前10時～午前11時20分														
開催の場所	太子町役場 行政棟3階 ホール														
出席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">（町長） 沖汐 守彦</td> <td style="width: 50%;">（教育長） 糸井香代子</td> </tr> <tr> <td>（副町長） 榮藤 雅雄</td> <td>（教育委員） 福本 充治</td> </tr> <tr> <td>（総務部長） 森 文彰</td> <td>（教育委員） 福田 秀樹</td> </tr> <tr> <td>（生活福祉部長） 嶋津 一弥</td> <td>（教育委員） 杉本 泰代</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（教育委員） 竹澤 秀代</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（教育次長） 福井 照子</td> </tr> </table>	（町長） 沖汐 守彦	（教育長） 糸井香代子	（副町長） 榮藤 雅雄	（教育委員） 福本 充治	（総務部長） 森 文彰	（教育委員） 福田 秀樹	（生活福祉部長） 嶋津 一弥	（教育委員） 杉本 泰代		（教育委員） 竹澤 秀代		（教育次長） 福井 照子		
（町長） 沖汐 守彦	（教育長） 糸井香代子														
（副町長） 榮藤 雅雄	（教育委員） 福本 充治														
（総務部長） 森 文彰	（教育委員） 福田 秀樹														
（生活福祉部長） 嶋津 一弥	（教育委員） 杉本 泰代														
	（教育委員） 竹澤 秀代														
	（教育次長） 福井 照子														
陪席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">陪席者（総務部財政課長）</td> <td style="width: 50%;">池田 誠</td> </tr> <tr> <td>（教育委員会管理課長）</td> <td>改野 学由</td> </tr> <tr> <td>（教育委員会こどもえがお課長）</td> <td>肥塚 馨</td> </tr> <tr> <td>（教育委員会社会教育課長）</td> <td>熊谷 恵之</td> </tr> <tr> <td>（教育委員会文化推進課長）</td> <td>森本 麻友</td> </tr> <tr> <td>事務局（総務部企画政策課長）</td> <td>山崎 将</td> </tr> <tr> <td>（総務部企画政策課主査）</td> <td>森下 拳士朗</td> </tr> </table>	陪席者（総務部財政課長）	池田 誠	（教育委員会管理課長）	改野 学由	（教育委員会こどもえがお課長）	肥塚 馨	（教育委員会社会教育課長）	熊谷 恵之	（教育委員会文化推進課長）	森本 麻友	事務局（総務部企画政策課長）	山崎 将	（総務部企画政策課主査）	森下 拳士朗
陪席者（総務部財政課長）	池田 誠														
（教育委員会管理課長）	改野 学由														
（教育委員会こどもえがお課長）	肥塚 馨														
（教育委員会社会教育課長）	熊谷 恵之														
（教育委員会文化推進課長）	森本 麻友														
事務局（総務部企画政策課長）	山崎 将														
（総務部企画政策課主査）	森下 拳士朗														
傍聴者	なし														
議事	令和7年度教育委員会各所管の重点項目について														
会議の概要	別紙議事録のとおり														
公開・非公開の区分	公開														
使用した資料	次第・令和6年度第1回太子町総合教育会議資料														
連絡先	総務部企画政策課 TEL:079-277-5998 FAX:079-277-2201														

1 開会

事務局

(山崎企画政策課長)

おはようございます。

ただいまから令和6年度第1回太子町総合教育会議を開会いたします。

私は企画政策課長の山崎でございます。本日の司会進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。

まず初めに町長の沖汐よりご挨拶を申し上げます。

2 あいさつ

沖汐町長

改めて皆さんおはようございます。

本日は令和6年度第1回太子町総合教育会議に大変ご多用の中ご出席をいただき、ありがとうございます。

また、平素は太子町の教育行政の推進にご支援・ご協力を賜っておりますこと、改めて御礼申し上げます。私の方から3点を主にお話させていただきます。

まず1点目ですが、この9月末で糸井教育長と福本教育委員の任期が満了するにあたり、9月議会に継続就任で提案しましたところ、全員一致で可決をいただき、10月1日に辞令交付をさせていただきました。今後ともよろしくお願申し上げます。

今回の教育委員、教育長人事については、教育委員会で作っていただいた案をベースに町長部局で協議の上、お互いに納得して進めるというルールに沿って進めることができたのではないかと思います。町長が変わった場合でも、今後も太子町ではこのルールに沿って教育委員、教育長を決めていきたいと考えております。

2点目です。私が町長に就任させていただき、聖徳太子没後1500年に向けた礎を作るため、令和5年、6年の2年間で行革に取り組んでおります。1年半が過ぎ、私の感覚では8割程度の達成が見えてきたと考えております。

教育委員の皆さんには小学校区単位で実施しました、まちづくりの集いの資料をお配りしておりますが、行革に係る箇所は13ページに記載しております。今後の主な大型事業としまして、文化会館の改修に10数億円、保健福祉会館の改修に5、6億円程度の費用が発生する可能性がございます。また、陸上競技場の公認に2億5千万から3億円、揖龍クリーンセンターの建替えにも約240億円の費用がかかると見込まれております。加えて現在、中道跨線橋を15億円かけて補修しており、太子陸橋についても15億円をかけて2年ほど前に補修が完了しております。長金陸橋については修繕して架け替えとなりますと100億円近い費用がかかりますので、糸井高田橋ができましたら廃橋予定としています。また、水道料金についても来年7月から値上げの方向で調整を行っております。続いて15ページですが、役場跡地にはディオというスーパーが出店する予定であり、来年には動きだす予定でございます。石海保育園用地につきましても安養保育園より購入の申し出があり、地価相当額で売却をしております。その他補助金についても見直しを行っております。

また、たつの市議会で使用料が概ね2割上がるということが議決されております。たつの市の使用料も参考に太子町の施設使用料も見直し予定ですが、令和7年3月末までに確定をさせ、関係団体への周知等を行い、令和8年4月から適用開始とすべく考えて

おります。

続く 16 ページには、こどもえがお課や福祉会館等に関する記載がありますので見ていただければと思います。行革の大まかな流れはこのような形です

最後に 3 点目です。この総合教育会議の位置づけについてですが、地教行法に予算等の議会上程案件については、行政と教育委員が協議を行った上で提案することという規定があります。この会議を次年度予算の議会提案に向けてご意見をお伺いする場と位置づけ、今後も続けていければと思いますので、教育委員の皆様からも忌憚のないご意見をいただき、いただいた意見が全て通るかは分かりませんが、前向きに、丁寧に予算編成の中で協議をして参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局

(山崎企画政策課長)

それではまず、この会議の構成員を確認させていただきます。

お手元の資料の 1 ページに構成員名簿をつけさせていただいております。この名簿のとおり、本会議は、町長部局より、町長、副町長、総務部長、生活福祉部長の 4 名が参加いたしております。また教育委員会からは、教育長と 4 名の教育委員の皆様、教育次長の計 6 名が参加されています。

また、陪席者として町長部局より財政課長、教育委員会より管理課長、こどもえがお課長、社会教育課長、文化推進課長が出席しております。

なお、事務局は、企画政策課の 私山崎 と 森下 が担当いたします。

3 議事録署名委員の選定

事務局

(山崎企画政策課長)

次に、次第の「3」、議事録署名委員の選定につきましては、本日は 福本充治委員 と 福田秀樹委員 をお願いしたいと思います。

お二人には、後日、事務局がまとめました議事録をご確認の上、署名をお願いいたします。

4 議事

事務局

(山崎企画政策課長)

次に、次第の「4」、議事に移ります。

今回の議事は「令和 7 年度教育委員会各所管の重点項目について」でございます。

町では例年 11 月頃から来年度当初予算の編成が始まりますが、この総合教育会議に先立ち、教育委員会の各所管からの令和 7 年度予算要求に関する意見、及び先月の定例教育委員会での教育委員の皆様からの意見を踏まえました重点事項について、取りまとめ結果を教育委員会部局より提出いただいております。資料は 2 ページから 7 ページでございます。

まず、この内容について福井教育次長より主たる項目などを中心に説明をお願いしますでしょうか。

福井教育次長

本件につきましては管理課所管が 10 件、こどもえがお課所管が 4 件、社会教育課所管が 7 件、文化推進課所管が 3 件の合計 24 件を令和 7 年度の重点事項として挙げておりますが、その中でも最重点項目としている事業を中心に説明いたします。資料としま

しては、最重点項目を最初に記載いたしまして、次いで新規事項、継続事項、拡充事項の順に記載しております。

最初に管理課所管事項としまして、2ページの1項目から3項目までを合わせまして、ICT教育事業の推進として最重点項目としております。まず、一人一台端末につきましては、令和8年4月から全ての児童が新たな端末を使用できるよう、令和7年に県の共同調達に参加する予定です。一方で現在の端末が導入から4年目を迎え、故障が多発していることから来年度は修繕料が大幅に増加しております。加えてICT教育の推進に伴い、現場からは屋内運動場での授業でも端末を積極的に使用したいとの要望があることから、屋内運動場の無線ネットワークを構築するものでございます。

次に5ページのこどもえがお課をご覧ください。こどもえがお課の新規事業としまして、学童保育の業務委託を掲載しております。現在、町立の学童保育園は4園12クラスで運営しておりますが、支援員等の人材確保やスキルアップ等に民間活力を導入し、高度で柔軟な保育サービスの展開と、安定的、継続的にサービスを提供できるよう、業務委託の導入を検討するものでございます。

続きまして6ページをご覧ください。社会教育課につきましては、陸上競技場公認改修工事でございます。総合公園陸上競技場は現在3種公認を受けておりますが、有効公認期間が令和8年3月29日までのため、令和7年度に公認更新工事を行うものでございます。陸上競技場は平成13年の建設から20年以上が経過しておりますので、これまでの公認工事以上に大規模な工事を予定しております。

最後に7ページをお願いいたします。文化推進課につきましては、昨年度に開館30周年を迎え、施設の経年劣化が顕著なことから、吊り天井の耐震化に合わせまして、令和7、8年度にかけまして、大規模改修を行うものでございます。

以上が令和7年度教育委員会所管の重点項目の説明となります。

教育委員会には令和6年度よりこどもえがお課が加わりまして、組織も大きくなり、今回挙げております事業以外にも多くの事業を予定しております。

子どもに関する事業や生涯学習、人権教育等、どれも大切な事業と考えておりますので、それぞれの事業にご理解、ご配慮いただきますようお願いいたします。

事務局

(山崎企画政策課長)

ありがとうございました。

次に、これらのことについて、教育委員の皆さんから補足等がございましたら、ご意見をいただきたいと存じます。

その後、沖汐町長からのご意見をはじめ、町全体の予算編成という中で、また、町教育のビジョンなどについて、意見交換ができればと考えておりますので、よろしく願いいたします。

福本委員

先ほど町の方から説明いただきましたが、陸上競技場の改修に2.5億円から3億円と箱物に関しては非常に手厚い事業費が計画されていますが、今後は人材面で困ることが多くなってくるかと思えます。例えばこどもえがお課の学童保育の業務委託の検討ですが、現在、近隣の委託先事業者は相生市に1社という状況であり、今後人材の取り合い

が予想されますので、新規事業ですが手厚い予算措置をお願いいたします。

継続の事項のうち ALT の増員という点に関しましては、今後も拡充をお願いいたします。また、学校魅力化計画と位置づけ、龍田小学校を小規模校として存続していくためには、人材活用の話が出てくるかと思います。さらに拡充項目として中学校の部活動指導員として外部人材を活用という話もありますので、箱物だけでなく人材確保もよろしくをお願いいたします。

加えて、次長からも申しあげましたように ICT 関係についてですが、ICT の活用範囲は運動場と屋内町民体育館に広がっていますので、そちらにも対応できるよう、予算の配分をお願いいたします。

他にも、虐待等管理サポートプランを作成し、昨年度から訪問支援をいただいている一方、昨年度よりもサポートが必要な世帯は増えています。こちらも対応する業者が少ないため、十分な取り組みをお願いいたします。

事務局

(山崎企画政策課長)

竹澤教育委員

その他の委員の皆様、重点項目についてご意見ございませんか。

3 ページの学校魅力発信事業ですが、龍田小学校では児童数の減少に併せて、複式学級になっていくことが見込まれます。その一方で、多くの外国人が日本に入ってきており、長期間滞在する世帯や家族を呼び寄せる方も増えています。私が把握しているベトナムや中国籍の世帯の中にも、間もなく石海小学校に入学する子どもたちがいます。そのような方がお困りのこととして、母国語を話すことができるサポーターが1年で交代されてしまい、その子の指導を十分行えないことがあります。お母さん方の不安を取り除くためにも、また子どもを集める方法の一つとしても、龍田小学校の学校魅力化推進として外国籍の子どもの入学を勧めることも一つで、時代に合った、国際色豊かな運営をしていくことも必要ではないかと思っています。

虐待等は表面化することが少なく、担任の先生も苦慮されているかと思います。システムを構築し、声をすくいあげることも必要なことですので、ぜひ継続して力を入れていただければと思います。太子町に住んでよかった、将来は太子町に帰りたと思う人が増えることが地域活性化にもつながると思います。

事務局

(山崎企画政策課長)

それではお伺いしましたご意見を踏まえまして沖汐町長の方からご返答をお願いいたします。

町長

基本的に本日は大枠だけお話をさせていただき、詳細は予算協議の中で教育委員会と整理させていただければと思います。

まず、中学校のトイレ改修についてですが、こちらは継続して取り組んで参りますが、現在はどこまで整備するかを整理しております。

タブレットは今年予算措置をしているため問題ないかと思いますが、Wi-Fi については一般用のものを学校にも入れることを検討していたところ、学校に一般の Wi-Fi を導入することには問題があるようで、その辺りの整理が現在なされております。ただ、

Wi-Fi は必要であるとは思いますが、使用回数の問題や町民体育館の空調の問題が出てくることが予想される中、今はまだ積極的に行う状況ではないと思っています。

続いてコンピューターについてですが、教育委員会でどの程度の修理が必要かについて整理をしてくれているようですが、予算自体は必要なものであると考えております。

継続の案件のうち、言語能力育成事業については、最低3年間は継続して教育研究に取り組み、その結果を踏まえて考えていくとの話を昨年していますので、3年間は行っていただければと考えております。ただ、ALT や学校司書の1名増員という点に関しては、急には難しいと思います。現状で3年やっていただき、その中で検証していくという基本姿勢をとっております。

それから学校の魅力関係について、こちらは龍田地区のまちづくりの集いでも、町として一定の方針を出してほしい、子どもを増やすことについて考えてほしいというご意見を伺っています。これについては、複式学級となつてから考えるということではなく、ここ1、2年で何らかの方向性を出さなければならぬと考えておりますので、ご意見、ご協力をいただければと思っております。外部人材の部活動等への登用については、大きな流れの中で動いていますので、指導員の問題だけだと思っております。

それから給食関係についても何かできればと考えていますが、これは全体の予算の中で考えざるを得ないと思います。無償化が理想ですが、そのためには2億円の費用が必要となるため、財政的に厳しいというのが正直なところです。物価高騰等、様々な問題がありますが全体の中で調整させていただきます。

給食センターの解体についても1億円近いお金がかかりますので、これもタイミングの問題と考えております。児童館も解体していますので、取り急ぎ解体が必要な施設は旧給食センターのみとなりました。

次に学童保育について、例えば町が運営に要する経費が1億円、民間委託に要する経費が1億円ということであれば、費用対効果を考えて民間委託を、少し高くなる程度であっても委託を検討するというので、教育委員会が調査を行っております。最終的には予算査定の中で費用対効果について精査を行う予定です。

保育所と幼稚園の合同ですが、これは費用が不要ということもあり、またこどもえがお課の所管になったこともあるため、大いにやっていただきたらと思っております。虐待の防止についても、補助が入っていることもありますし、当然のことですので、実態を踏まえ、継続して取り組んでいただければと思います。

陸上競技場関係については公認をやめるべきという意見が内外からありました。ただ、一部の子どもたちになってしまうかもしれませんが、子どもたちのために4種公認を取得するというので補正予算を組み、今年実施設計に入ります。来年の夏を目途に着工予定であり、記録が認定される環境は保証する予定にしております。公民館についても、福祉会館の中に石海公民館、あすかホールの中に斑鳩公民館を移転する等、施設の利活用を考えておりますが、文化会館の民間委託の問題、石海公民館の跡地利用の問題等が一部残っており、これは最終の調整中です。

町民体育館のエアコン等については3、4年前に全面改修を行った際の遮光カーテンの想定や趣旨、鏡の要否について等の経緯も踏まえ、予算査定の中で整理をさせていた

だきます。

文化会館は現在そのまま改修を進めます。

福本委員から箱物に力を入れて、人材面が弱いとのご意見をいただきましたが、箱物には緊防債という有利な起債が活用でき、3分の2が交付税算入対象となります。しかし、この制度はひとまず令和7年度末を区切りとして終了するという話がありました。

現時点では令和7年で終わらず、令和8年以降も継続するという内容が国の法改正の中でもあるようですが、金額や期間がまだ確定していないため、ひとまず令和7年度に制度が終了する想定で7年度内に大型事業を予定していれば、令和8年以降の制度継続が確定した場合には当然引き続き対象となりますので、取り急ぎ7年度に大型事業を全て盛り込むという趣旨で、箱物が多くなっています。文化会館、福祉会館やそれ以外の様々な補助金等、助成があるものは全て活用し、極力町負担を減らす努力をするということでご理解をいただければと思います。

それからもう一つ、外国人の関係についても町の方では外国人の人数確認をしておりますし、国の言語も大体わかっていると承知していますので、龍田小学校の方向性を検討する中で多文化共生の視点を持った検討を行うとともに、母語が話せる多文化共生サポーターの派遣についても今後県に要望を出していければと思っています。

建物を直すのは単年度で終わりますが、民間委託すると事務費が継続して必要になるため、その額やタイミングを見極めて判断をいたします。

福田教育委員

町長も非常に前向きに教育のことを考えていただいておりますので、そのご意見や展望を聞かせていただいて、ありがとうございます。

いろいろ出ましたが、個人的な意見では太子町の魅力は教育と文化芸術の町だということだと思います。観光地でもなく、大きな産業もない一方で、交通の便は良く、商業施設も多いですし、病院も近くにある。このような住みよい町をさらに良くするためには、町内外の方に教育や子育ては太子町が一番なので太子町に住もう、太子町で子育てしようと思ってもらえるまちづくりを進めることが必要ではないかと思います。

その中でやはり先ほどの学童保育の民間委託や部活動の補助員、あるいは虐待関係の子育て支援の指導員もそうですが、早めに民間で活用できるところは活用し、人を確保するということが必要です。

一つの例ですが令和8年に部活動の地域移行を目指すこととなっていますが、現実には指導者がいないことに困っていて、以前、教育委員の全県的な研修があった際にその点が比較的うまく進んでいる他府県の町の教育長が来られていて、その方の話によるとすでに部活動の指導員の取り合いが始まっており、早く取った方が勝ちという状況が全国的に広がっているとのことでした。その町は早い段階から学校の先生は部活動に対応する必要はないという方針を出していたため、指導員の確保はほぼできているそうです。周りの様子を見てから始めるのでは間に合いません。学童保育もそれと同じで、指導員が高齢化していて、報酬がきちっとあれば若い人も勤めようかとなりますが、そうではないため、学童保育の指導員も取り合いになると思います。

太子町の場合はすべてのお子さんが希望どおり学童保育園に入れていると伺ってい

ますが、これはすごいことだと思います。

私も 20 代のときに初めて学童保育を見たのは民間の学童でしたが、その当時は何とかこれを公共機関でやってほしいと感じました。共働きで子どもを預かってほしい保護者がたくさんいる一方で、預け先がなかったため、民間のボランティアで運営していましたが、今は公的な機関でやり始め、希望者が多く、パンク状態となっています。学童保育園で 1 番重要なことは安心して預けられるかどうかです。あの町の学童保育園には良い指導員がいて、子どもが明るい気持ちで帰ってくる、あの町であれば学童保育園は 100% 入ることができる、となれば絶対にその町を選ぶと思います。民間委託というのも選択肢の一つで、早めに予算投資を行ったとしても人にかけるお金は 100 年先に返ってくると思います。箱物もちろん大事ですが、竹澤さんも龍田地区に多文化共生の学校を作ればどうかと言われましたが、そのような学校があれば、もしかすると他府県からの入学希望者がでてるかもしれませんし、特色ある学校で誰もがそこに入学できるとすれば太子町が注目を浴びると思います。

現実にそれをやり始めている市町もあり、1 学年 30 人枠の公立小規模校に全国から子どもたちが集まってきつつあります。特区的な学校にしなければならないため、できるかどうかはわかりませんが、まだどこもやっていないことを太子町が行えば非常にインパクトあるのではないかと思います。

先ほどの陸上競技場の話にも反対意見があるとのことでしたが、今西播地区で公認の全天候型グラウンドで陸上競技ができるのは太子町しかありません。赤穂市にもありますが、そこは土のグラウンドで記録が出ません。現状、西播地区で陸上関係の催しを行う場合は太子町でしか行えず、太子町で行えなければ姫路市や加古川市の陸上競技場で行うことになります。

西の方に住んでいる人たちがスポーツを楽しめるよう、例えばサッカーはたつの市、陸上は太子町のように、西播地区の市町でメインになるところを一つ作り、陸上は太子町で行うので他の市町は負担金を出さず、たつの市にはサッカー場があるのでサッカーの負担金は他の市町も出すとすればいいのではないかと思います。更に言うと、先ほどの学童保育も同じですが、これは西播地区全体が潤うことですので、市町だけの小規模な予算に任せるのではなく、国や県がすべきことではないでしょうか。

話がそれましたが、結論として何が言いたいかというと、太子町を文化と教育の子育ての町にすればいいのではないかと思います。

町長

龍田小学校の方針を検討するにあたっては、全国の先進的な取り組みを踏まえて 1 年間をかけて検討委員会で協議いただければと思います。先ほどおっしゃったように教育に重点を置き、今課題になっている長期欠席や虐待の問題と併せて、生徒数が減少する傍らで特別な支援が必要な子どもたちが増えているということに関しても、3 歳児健診での早期相談体制の充実、境界域にいる子どもたちが就学前健診を経て普通学級に進むための支援など、支援が必要な子どもたちが困らない体制は今後充実させていかなければなりません。竹澤委員も日本語理解が難しい外国人への支援に取り組んでいただいています。そのような子どもたちへの支援の充実も図っていかねばならないと思っ

ています。

事務局

その他、重点項目についてご意見ございますか。

(山崎企画政策課長)

福本教育委員

町民体育館のスポットクーラーについて、3、4年前に全面改修を行ったとのことですが、昨今の異常な暑さはその当時には考えられませんでした。防災のことを考えますと太子町は幸いなことに大規模な災害は少ないですが、有事の際には町民体育館が避難所になることも踏まえ、箱物には緊防債がつくということもありましたので、国県の補助等を活用していただき、今年のうちには何らかの対応をいただければありがたいです。

町長

町民体育館の空調については、設備の後付けや断熱材に関する課題もあり、やはり総合的に整備するときに合わせて行うことが一番効率的ではありますが、後付けで対応する場合にはどれだけのものを設置すればどの程度の効果があるのかという点を懸念しています。スポットクーラーは1台20万円程度ですので2、3台置き、休憩時間に涼んでいただくということであれば現実的ですが、それで済むのかということが懸念点です。

当然ですが、町民体育館の中でスポットクーラーを稼働させるとその前面は涼しい一方で、後ろは暑いという状況になりますが、本当にそれで皆さんが満足されるでしょうか。

竹澤教育委員

私も昨日町民体育館を利用しましたが、なぜあのようなところに遮光カーテンがあるのか疑問に感じました。カーテンで区切られていることで廊下はすごく涼しいので、それ以外のところが余計に暑く感じます。光の関係なのか閉められています、外につけるべきだったと思います。

沖汐町長

どのような理由で今の場所につけたのか、当初の計画では何らかの理由があるとは思いますが、当時の担当者への聞き取りや設計の確認を行い、その中で改修すべき箇所は改修すればいいと思います。現場の意見を無視して設計することは絶対にあり得ませんので、その辺りも聞き取りながら進めていきます。

私からもお願いしたいことがあります。幼稚園の1園化に関してですが、今公立幼稚園の児童は200人から220人であり、数だけを見ると石海幼稚園1園に入ってもらうことが可能です。それが良いということではありませんが、どこかに新しく1園を作り、そこに通っていただくことが理想的である一方で、町内の幼稚園での状況に目を向けますと、複式学級にすれば先生の数も足りないことはありません。

園舎に関しては町の中心に位置する斑鳩幼稚園を活用することが望ましいと考えますが、園舎の規模を踏まえると全員の収容が難しいため、近隣に新たに建てるのが理想だと考えますが、エコロに何百億円、橋の撤去到何十億円という費用がかかる中で、既存園舎の改修であれば何とか可能ですが、新しくは建てにくい状況です。

教育委員の皆さんが、今後龍田小学校の方向性を考えるときには、幼稚園の方向性も

ぜひ併せて考えてほしいと思います。また、龍田幼稚園を単純になくすだけではなく、その後の施設に関しても子どもたちに関係した施設にしてほしいという要望をいただいていますので、こちらについても一度皆さんでも考えていただければと思います。

今後の龍田小学校の方針とともに幼稚園についてもより具体的な検討をしていただいた上で1園にする方針は良いかと思いますが、保護者のご理解が得られるかが問題ですので、増改築も視野に入れて、幼稚園の方針と一緒に考えていただけますとありがたいです。

糸井教育長

1園化するにあたり、隣に公立の保育園があるという斑鳩幼稚園の立地は捨てがたいと私も思っています。幼保の連携が必要になっている現状において、斑鳩幼稚園が理想ではありますが、そうすると子どもたちが入りきらないので、どこに集約するかということは今後の課題です。

沖汐町長

小学校の横に幼稚園があることでお兄ちゃんやお姉ちゃんが遊んでくれる等、交流ができるメリットもあり、そのあたりも視野に入れてこの1年をかけて検討していただければと思います。

私からは以上です。

福本教育委員

今の点に関してですが、静岡県掛川市では部活動等で他の地域の学校と交流する際に自動運転のバスを活用しているという話を聞きました。石海幼稚園へ1園化した際には、例えば太田地区の端から通園する場合の親御さんの負担軽減が課題になるかと思いますが、国の補助等を活用して何らかの手助けができれば1園化も俎上に上がるかと思えます。保護者の送迎の労苦を踏まえ、どうすることが理想か、部活動に関しても一つの学校で行うことが難しくなったときにそれをサポートする手段を検討いただくことで俎上に上がりやすくなるかと思えます。

沖汐町長

それぞれプラスマイナスがあるかと思えますので、その辺りはまた整理していただければと思います。

その辺りで一番都合が良いのはへき地指定です。例えばたつの市の新宮町がへき地指定となりましたが、小中一貫校を建てる際には3分の2の補助金が出ます。他にも送迎バスの補助金等、国から様々な助成を受けることができますが、太子町にはそのような補助はありません。プラスマイナスを踏まえた上で様々なご意見を伺い、総合的に各幼稚園と龍田小学校の在り方を検討していただければと思います。指導者の問題も教育委員会や学校だけではエリアが狭いため、町の関係者等でお願ひできそうな方がいれば願ひすればいいと思います。

ただ、県内他市町がやっているように、例えば龍野西中学校の先生が太子町在住という理由で太子町の部活動をお願いするということはしたくないと考えています。揖龍内でどうするかは不明ですが、土日は居住地で、平日は勤務校で部活動の指導を行うという仕組みをとっている市町もありますが、そうすると先生方は休むときがありません

し、勤務校で指導した方がプラスだと思います。これはあくまで私の持論ですが、県内でもいろいろなやり方があります。

福田教育委員

部活動の指導者についても、種目によって差があると思っています。

例えば、サッカーはクラブチームが増え、都市部では部活動の受け皿となっている所もあります。しかしそれでも地域によっては差があり、指導者が足りないと聞いています。

ましてや、部活動に頼ってきた種目については、もっと困ってしまうのではないかと思います。多くの部がそのような状況ですが、私の想像では先生の中では令和8年以降は部活をしなくてもいいという意識になっていくでしょう。それでもやりたい先生は多くても1割か2割程度ではないでしょうか。

わずか数年で地域移行を進めようとする国や県の動きに無理があると思います。

糸井教育長

現在、サッカーや野球等をやりたい子が部活動に入らずに外部のチームに所属するケースはあり、そのような子たちは土台があるので、問題は少ないかと思います。部活動がなくなることで何が一番辛いかというと、上の大会に行くことにはこだわらずに毎日の部活が楽しくて、学校生活の一環として部活動をやってきた子どもたちの行き場がなくなることです。

沖汐町長

それに関しても支援できることはさせていただきますが、学校現場の先生がどうもっていきたいかという一定の方向性がないと、現場の意向を無視できませんので、教育委員会の中でもよく検討をいただければと思います。

事務局

その他、ご意見ございますでしょうか。

(山崎企画政策課長)

杉本教育委員

先日、斑鳩保育所の運動会を見に行った際に斑鳩幼稚園との交流があり、保育園児が幼稚園の先生に手を振っている光景を見ました。場所が隣ということもあり、いい交流ができていたなと思っていましたが、保育園で使っているタブレットが幼稚園にはないという話を聞きました。保育園にはタブレットがあつて良いなという話を聞きましたのでご検討ください。

福井教育次長

教育委員会の方で検討させていただきます。

福田教育委員

学校はICTの浸透がかなり早いようです。どのクラスの子どもたちもタブレットを使用し、先生も電子黒板で授業をされていて、ツールとして非常に活用されています。

榮藤副町長

町長は教育長の経験もありますので、教育を町行政の中心に据えておられ、私も教育委員会の経験もありますし、学校教育以外の生涯教育等を含めた一貫教育を大切にしていることは間違いありません。

ただ、行政というのは当然教育だけではありませんので、他とのバランスを考えた予算編成が必要であるということをご認識ください。

森総務部長

昨年度まで教育次長の立場でこの場に参加していましたので、内容も思いも分かります。このような顔と顔を合わせてお話する機会があることで予算査定の中でもより意識することができますし、担当課との協議の中で一つでも吸い上げることができればと思っています。

5 閉会

事務局

(山崎企画政策課長)

ありがとうございました。今回の議事であります、令和7年度教育委員会各所管の重点項目については、いただきましたご意見などを参考としながら、予算査定の中でも協議を進めてまいります。

それでは、これで全ての議事が終了しました。閉会にあたりましては、糸井教育長より一言ご挨拶をお願いいたします。

糸井教育長

本日はありがとうございました。

今日のこの会議ですが、お互いが対立するのではなく、皆さんが本音を言い合える貴重な場であったと感じています。先ほどの副町長の発言にもありましたが、太子町は町長の方針により教育を大切にしていることを今日も確認できたと考えています。

よく言う言葉ですが、1日の計は朝、1年の計は元旦、100年の計は教育です。国の一歩は人づくりだとも言われていますので、教育はやはり大切にしていきたいという中で、今年は教育委員会もこどもえがお課が増え、大きくなりました。仕事は大変ですが、幼保の連携ができ、虐待等の問題についても管理課とこどもえがお課がコンパクトに話すことができるため、すぐに動くことができます。

これは社会教育や文化芸術の面でもですが、太子町の良さであるコンパクトな動きを今後も大切にしていきたいと考えています。

もちろん教育委員会としても今絶対に大事なものと中長期で考えても問題ないものがありますので、その辺りをこれから精査して予算を要求していきたいと考えております。今後ともよろしくをお願いいたします。

今日は本当にありがとうございました。

事務局

(山崎企画政策課長)

ありがとうございます。それではこれをもちまして、令和6年度第1回太子町総合教育会議を閉会いたします。本日は、ありがとうございました。